

盲ろう者通訳・介助者派遣事業にかかる調査について

1. 調査概要

(1) 目的

派遣制度に登録している盲ろう者の高齢化に伴う身体介護が必要な状況等について、登録盲ろう者の実態把握のため調査を行う。

(2) 調査対象

派遣制度に登録している盲ろう者のうち、盲ろう者等社会参加支援センター（福祉情報コミュニケーションセンター）及び協力機関が運営する事業所の利用者等

(3) 調査方法

盲ろう者等社会参加支援センター通訳・介助者派遣コーディネーターが、盲ろう者に対面で聴き取り調査を行う。

(4) 調査期間

4月から12月

(5) 主な調査項目

- ①障がい程度等基礎情報
- ②通訳・介助者派遣について
- ③障がい・介護サービスについて

(6) 調査人数

57人

2. 調査結果

(1) 基礎情報

① 年齢

年代	人数
20代	2人
30代	2人
40代	3人
50代	3人
60代	17人
70代	20人
80代	10人

② 家族との同居

あり 23人
なし 32人
未回答 2人

③障がい程度等

総合等級	人数
1 級	51 人
2 級	4人
未回答	2人

		聴覚							
		1級	2級	3級	4級	6級	不明	未回答	合計
視 覚	1 級	3	14	2	3	4	0	0	26
	2 級	0	9	3	2	1	0	0	15
	3 級	0	2	0	0	0	0	0	2
	4 級	1	0	0	0	0	0	0	1
	5 級	0	1	0	0	0	0	0	1
	不明	0	2	0	0	0	1	0	3
	未回答	0	0	0	0	0	0	9	9

補助具等	人数
白杖	40 人
車椅子	8人
杖	5人
補聴器	3人
ブレイルメモスマート	1人
歩行器	1人

コミュニケーション	人数
触手話	25 人
音声	19 人
接近手話	7人
指点字	2人
手話	1人
ブレイルセンス	1人
身振り	1人
手書き文字	1人

ヒアリング場所	人数
手と手とハウス	14 人
すまいる	13 人
福祉情報コミュニケーションセンター	13 人
あすくの里	7人
自宅	5人
電話	3人
郵送	1人
不明	1人

(2)外出・移動にかかる障がい福祉サービスについて

①同行援護と通訳介助の同時利用について

同時利用	人数
ある	7人
ない	48人
未回答	2人

②主な理由

(同時利用ありの人)

- ・通訳介助者が新人の時に同時利用し育てている
- ・長時間の旅行の際に利用している
- ・いろいろな所に行けるので利用している

(同時利用なしの人)

- ・知らなかった(10人)
- ・若いので必要ない
- ・ややこしい
- ・支援者は1人で良い
- ・機会がない
- ・単価が違うためおかしいと思うので使わない

(3)通訳・介助者の派遣について

①通訳・介助者の選定方法

選定方法	人数
コーディネートを依頼することが多い	17人
自分で直接調整することが多い	20人
その他	20人

②通訳・介助者の選定理由

(依頼する場合の主な理由)

- ・利用頻度が少ないから(3人)
- ・自分に合う人を選んでくれるため
- ・トラブルを避けたいから
- ・今まで頼んでいた人が辞めてしまったため
- ・自分で調整するのが大変なため
- ・どんな人がいるか分からないため
- ・いろいろな人と会いたいから

(自分で調整する場合の主な理由)

- ・依頼したい人にお願いしたいから(5人)
- ・近隣の人に依頼したいから
- ・できることは自分でしたい
- ・手話ができる人に頼みたい

- ・性格や歩く速度が合うため同じ人に依頼している
- ・自分で調整する方が早い。
- ・家族が信頼している人に依頼している
- ・よく知らない人に頼みたくない
- ・(コーディネートを依頼する場合の)メールやFAXが面倒なため
- ・依頼すると自分に合わない人が来てややこしい。

(その他)

- ・すまいるや手と手とハウスの担当者にコーディネートを依頼している
- ・盲ろう者等社会参加支援センターは土日が休みのため、通訳・介助者が急遽キャンセルする場合の連絡が取れなくなる

③通訳・介助者派遣を依頼する際の困りごと(複数回答)

	人数
調整に時間がかかる	4人
急な用事に対応できない	6人
派遣されてくる通訳・介助者の介助の方法(内容)が合わない	3人
移動の際不安	2人
その他	16人

(調整に時間がかかる理由)

- ・土日の連絡が取れない
- ・人気がある通訳介助者は予約が取れず、通訳介助者が決まらない

(介助の方法が合わない理由)

- ・歩く速度が合わない。
- ・歩く速度が合わず、壁などにぶつかる
- ・トイレ内での誘導・説明がない

(移動の際不安な理由)

- ・ホームでもっと案内表示をみてほしい
- ・移動の際ぶつかることがある

(その他の理由)

- ・スムーズでトラブルもなく感謝
- ・みんないい人
- ・初めての人は会話やコミュニケーションが合うか不安
- ・メールが面倒
- ・よく知らない人だと予定より時間がかかる
- ・見つからないと断られる
- ・キャンセルがある
- ・予定日に迎えに来ない、連絡が通じない
- ・コミュニケーション方法が違った(他の盲ろう者と勘違いしていた)
- ・急な依頼等、当日の依頼が難しい
- ・事務局は土日祝日が休みのため頼めなくて困る

④自分で調整する場合の困りごと(複数回答)

	人数
いつも利用する通訳・介助者の予約が取れない	1人
急な用事に対応できない	3人
移動の際不安	2人
その他	14人
特になし	27人

(急な用事に対応できない)

- ・通訳・介助者が急遽キャンセルとなった場合、代わりを探すのが困る

(移動の際不安)

- ・歩行中にぶつけられることがある
- ・エレベーターを利用してくれない

(その他)

- ・皆さん手話が分かりやすくて良い人
- ・キャンセルがある
- ・予定が合わない
- ・一斉メールができないので不便
- ・次回受けてくれるか不安
- ・新しい登録者は人混みや手話など不安
- ・道を間違える、遠回りされる
- ・コミュニケーションが通じない、手話が通じない
- ・若い通訳・介助者は話が通じないため不安
- ・行先によって嫌がる通訳介助者がいる
- ・高齢の通訳・介助者は歩く速度が遅く歩行が合わない。

(特になし)

- ・通訳介助の技術が上がったから
- ・いつも同じ人に依頼するため

(4)障がい・介護サービスの利用状況について

①障害者支援区分

区分	人数
2	3人
3	4人
4	16人
5	10人
6	2人
不明	13人
未回答	9人

②要介護認定

要支援	人数
1	4人
2	4人
不明	3人

要介護	人数
1	2人
2	5人
3	6人
4	7人
5	4人
不明	3人

③利用中のサービス(複数回答)

サービス	人数
居宅介護(ホームヘルプ)	26人
同行援護	32人
生活介護	17人
短期入所(ショートステイ)	1人
就労継続支援(B型)	15人
グループホーム	19人
相談支援	11人

④身体介護のうち、歩行、立ち上がりなど移動に関わるもの、また身体状況の変化、視聴覚障がいの状態について(複数回答)

- ・特になし(元気)
- ・体力作りのために外出するようにしている
- ・手術を受けた(がん、腰 等)
- ・目が見えにくくなった
- ・全盲になることが心配
- ・聞こえにくくなった
- ・転倒しそうになる(足を踏み外す時がある)
- ・疲れやすくなった、筋肉の衰えを感じる
- ・1人では歩けない
- ・膝・足が痛い(立ち上がりが辛くなってきた)、足が弱くなった(車椅子になった)
- ・泳ぐスピードが遅くなった
- ・体調管理が難しい
- ・視力が落ち、就労継続支援(B型)に通う回数が減った、家にこもりがちで気分が落ち込む

⑤障がい・介護サービスの利用頻度

利用頻度	人数
ほぼ毎日	26人
週に1回程度	2人
週に2～3回程度	10人
月に2～3回程度	5人
その他	4人
未回答	10人

(5) 同行援護と盲ろう者通訳・介助者派遣の同時利用について

回答	人数
知っていた	17 人
知らなかった	33 人
未回答	7人

(6) その他の主なご意見

(盲ろう者通訳・介助者派遣の利用上限時間に関して)

- ・上限を増やしてほしい、足りない。
- ・チケットを使い切れない。
- ・派遣の利用券を2月に使い切ったら外出できなくなるので不安
- ・入場料など遠出の場合の通訳・介助者の費用負担が高額の場合は困る

(盲ろう者通訳・介助者に関して)

- ・点字が読める人やタイプライターが使える人を増やしてほしい。
- ・怒らないでゆっくり落ち着いて通訳・介助してほしい
- ・忘れ物がないか確認してくれない
- ・通訳介助者に服を引っ張られて怖くなった。手話が分かりにくいと言ったら怒られた。
- ・行先、ルートを伝えても間違えることがある
- ・コミュニケーションの際、マスクをしていると分かりにくい
- ・席を離れる際声掛けがない、その他の場面でも声掛けがない場合が多い。
- ・意思疎通ができず、買い物をして帰宅後に確認すると違う物が入っていた

(盲ろう者通訳・介助者の2人派遣に関して)

- ・余暇活動でも(利用券1枚で)2人派遣を認めてほしい

(同行援護と盲ろう者通訳・介助者派遣の同時利用に関して)

- ・同時利用できれば安心
- ・高齢になったら同時利用するかもしれない
- ・山登りは1人だと疲れるため2人がいい
- ・単価が異なるため同時利用は申し訳ない(同じ単価にしてほしい)
- ・支援内容の違いが分からない
- ・同時利用したくても時間数が足りず利用できない
- ・同時利用した場合、両方の支給時間が減ることを盲ろう者が理解していない

(同行援護に関して)

- ・同行援護で2人派遣してほしい。
- ・同行援護従業者養成研修未受講者は疑似体験をしていない。(移動時に怖い思いをした。)

(その他)

- ・盲ろうに対応可能な介護事業者をもっと作ってほしい
- ・色々な行事に参加したい、観光もしたい

3. 今後の予定

事業実施機関と連携し、以下のとおり対応予定。

- ・支援内容に関するご意見については、養成研修や現任研修等において、心構えや支援のあり方等を指導していく。
- ・派遣に関するご意見については、随時、通訳・介助者に共有し、再発防止に努める。
- ・キャンセルや土日の対応については、事業実施機関の体制等について事前に周知し、混乱を防止する。
- ・引き続き、派遣事業に登録している盲ろう者に対し、同行援護等他の障がい福祉サービスとの併用について周知を行う。また、過去に利用したことがない通訳・介助者の派遣も促す。
- ・事業者や派遣事業未登録の盲ろう者に対し、派遣事業の周知に努める。